

まるみえ 博善社!

おでかけバージョン



2023年
11月号

vol.37

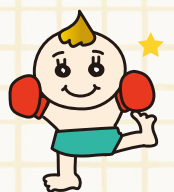
この「コースレター」はブログ「まるみえ博善社」をおでかけ用に着飾ったちよと役に立つ情報紙です。お昼の休憩時間やお風呂あがりにお読みください。回覧歓迎! 回覧すると幸せになれるご祈祷済み(笑)



もうすぐ紅葉の秋晴れ。自然豊かな比良とびあ(Ticktok撮影現場)より琵琶湖と湖西線走る電車を眺めていた。山の日(8/11)も、びわ湖の日(7/1)も夏じゃなくて秋の設定の方が良かったんじゃないかと感じながら...

ビジネスに役立つ小話

お!?! 仕事のポイント



コバスポ

キングカズを崇拝し、20代に交じってキックボクシングをたしなむ40代。ケガをしない程度に頑張ります!

ビジネスは結論ファースト!? では広告は?

スポーツの秋。参加要請があり、仕方なく途中から出向いた地元の運動会。「受付」と貼られた机の前で「受付できますか?」と質問すると、年配女性2人から「ここじゃなくて向こうの受付で〇×△☆#...と言ってアンケートを書いて!」と、質問と見当違いの回答が返ってきて「?」となった。まず「受付してるよ。」とあり「でも、受付時に渡しているアンケート用紙が切れたからあつちの受付がいいよ。アンケートと引き換えで参加賞がもらえるから」と説明があればイライラノート(※)に書くこともなかったのに...

どーでもいいエピソードはさておき。最初に回りくどい言い訳があったり、回答をはぐらかされたりすると「で結局どうやねん」とツツコミたくなる。というかみんな心の中でそう叫んでいる。前述のような困った会話はビジネスの場でもよくあるので、確かに「**ビジネスは結論ファースト**」という考え方は正解。しかし、それに続く「なぜなら」「これを経て」の説明が無いと結論だけが切り抜かれてミスリードも招く。時に時系列で話す方がストーリーが伝わり感情を動かすこともあるので、こういう教訓には「必ずしもそうか?」と問うてしまおう。とりわけ**広告には最初に結論がこない方がいい場合が多い**。

暇つぶしに寝転びながらSNS等を眺めている人に、解決策から提示する「ザ・広告」は人の状態への想像力が欠けている。そういう対象に効果的なのは、ネイティブ広告(ネイティブ

アド)。一般記事に溶け込むように潜在層へアプローチし、SNSを眺める体験を損なうことなく商品に誘導する広告のことである。

先日、「Ticktok」の動画広告の脚本のご依頼をいただき、まさしくそれを狙ったシナリオを書いた。「Ticktok」なんてエンタメプラットフォームの極み。マトリックスのエージェントのような男や借金をかかえた主人公が登場しつつ、ゴールは広告主の司法書士事務所のサービスにつなげるストーリーにし、プロの役者さんに演じてもらいコミカルな動画ができた。

ゴール(結論)は一つでも、登場人物が変わればストーリーも変わり広告の切り口はいくらでもつくれる。芸術の秋は広告も芸術的に。シナリオライターになれば広告づくりは結構楽しいものだと思います。

※現在当社で新商品として開発中のイライラをハッピーに変換させるノート。乞うご期待!





＼こんなことやってます！／

博善社印刷のお仕事紹介



自社キャラの

職業イラスト入り



卓上カレンダー

今年も残すところあと2か月。

株式会社ワダケンさんのマスコットキャラ「わっさん」が様々な職業に紛するイラスト入りのカレンダーの来年版を制作させていただきました。

このカレンダー、ユニークなのは**職業と旬の野菜が関連**している所。職業は毎年「あいうえお順」で決まるため、今回の1月は「は」花火師、2月は「ひ」美術教師、3月は「ふ」ファッションデザイナー・・・というお題が与えられます。そこへ旬の野菜を調べ、職業と絡めたイラストを考える…という労力が必要なご依頼でしたが、たまたまインターンに来ていた美大生が楽しんでラフを描いてくれおかげでスムーズに進みました。

他のページには、ワダケンさんが提唱する次世代農業「和らぎ農法」を説明するコンセプトも掲載されています。

制作工程

＼こんな感じで作っていきまーす！／

発案＆提案

まず、和田社長から「今回のわっさんの職業はコレ！」という原稿を送っていただいた(★)
それに対し、各月ごとに旬の野菜を調べ提案(★)

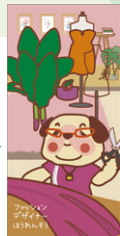
月	職業	旬の野菜
1月	は 花火師	わさび
2月	ひ 美術教師	ふきのとう
3月	ふ ファッションデザイナー	ほうれんそう
4月	へ 参事	多量

イラスト起こし

素案(ラフ)を出し、打ち合わせをして詰めていき、OKになったらイラストを書き起こしていく

3月

ほうれん草がモデルになって、わっさんがメジャーを持って洋服を作っている



完成！



愛嬌あるこのブルドッグ?のモデルは社長なのかしら? 気になる方はワダケンさんのホームページをチェックされたし! ▶



お問合せはボットに...

今年ChatGPTが話題になりましたが、更に進化した技術が生まれてきています。それは「チャットボット」。「チャット」とは文字でのやり取り、「ボット」はロボットの略で自動化プログラムのこと。AIがこちらの問いかけに自動で回答してくれます。

チャリ道



チャリてら

GACKTが同級生の元守山高校生徒会長。今もチャリ道の博善社システム担当大臣。近年のICT化等を踏まえた情報をお伝えします。

例えばホームページ上での質問・問い合わせ、ホテルなどでは受付担当者を待たずにコンピューターが答えてくれます。さらにグーグルなどへの検索も会話形式でチャットボットに質問する形に進化していきます。なかなか調べたいことに辿り着かないモヤモヤは今後解消されていくかもしれません。

結論から言うと「野菜ジュースを飲むII生野菜を食べる」ことにはならないそうです。製造過程で加熱処理を行う際に熱に弱いビタミンCや酵素が減少し、不溶性食物繊維は搾りかすとして取り除かれてしまいます。(水溶性食物繊維は残りやすい)

しかし、熱に強いビタミンやミネラルは豊富に含まれていて、逆にリコピンやβカロ

テンなどのカロテン類は、生の野菜からよりも効率よく摂取できるともいわれています。リコピンは血中LDLコレステロールを低下させる効果も。「二日分の野菜」「これ一本」とうたい文句がありますが、野菜の代わりではなく、あくまで食事での野菜不足を補うものとして上手に利用するとよいでしょう。

野菜ジュースからの栄養摂取って実際どう?

日々の暮らしを良くしたい



PONDA

いつも心に4色ペンとランボーを。過酷な世の中を生き抜くサバイバル術(暮らしに役立つこと)を発信します。

<お問合せ・ファンレターはコチラまで>

☐取材OKの御社の商品・サービスは随時募集しております。

☐苦情はメールだと凹むのでお電話にてお願いします。

博善社印刷株式会社 広報部 〒524-0012 滋賀県守山市播磨田町 38-4

Tel 077-582-5050 Fax 077-582-5058

Email mail@hakuzenp.co.jp

博善社印刷 検索

まるみえ
バックナンバー



tataYel



たのぼし



7のぼし工房

